

知らなきゃ損する

帰ってきた!!

歯

の は な し

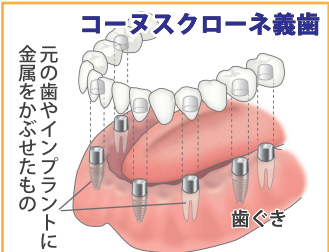


埼玉県羽生市 木村歯科医院 HPにてバックナンバー掲載中!!

⑬ インプラント専門医の勧めるコーヌスクローネ義歯⑩

歯を失う原因は虫歯や歯周病、食いしばりに加え、歯並びもあります。私の少ない経験ですが歯並びが悪い80歳の方ですべて自分の歯が残っている方は見たことありません。一方で歯並びが良い80歳の方で、すべて自分の歯が残っているという方は何人も見えています。歯並びが悪いといくら予防の意識が高くても歯を磨きづらいリスクがあり、正常ではない噛み方をしてることなどもあって必ず歯を失うこととなり、ある程度の年齢に

なると総入れ歯となります。また、年とともに歯の大きさはすり減ってきます。食べる事や食いしばり等で噛む面の歯が低く小さくなってしまいます。少しずつ減っていくのでわからない方が多いのですが、この際自



分の歯を鏡でじっくり見てみてください。歯の形が変わってすり減っている所があるかと思えます。厳密に言うと、そのせいで顔の長さも短く小さくなり、顔のしわが増えます。歯が低くなった分皮膚がたるむからです。欧米では歯並びは成長期に親の義務で当たり前に矯正治療をします。歯並びを治す事が予防になると分かっているからです。日本では「矯正は保険がきかないから子どもが成長したら自分でやれ

ばよい」などと都合の良い解釈をして、成長期に矯正治療をしてもらえない子どもが大勢います。特に奥歯を失って入れ歯を入れている方は噛む力を歯肉で支えるため、加速して噛む高さが減っていきます。その場合、すべての歯の高さを回復する必要があるため、顎のすべての歯の治療が必要になってきます。

昔は60歳の定年まで何とか噛めればよい時代でしたが、人生100年時代の今は、60歳で充分に噛めなくなったら天寿を全うできず短命になってしまいます。奥歯が無い場合、今やどこに行っても「インプラントしかない」と言われてしましますが、残っている歯によってはインプラントにせずつとも快適な装置「コーヌスクローネ義歯」があります。

コーヌスクローネは全顎を治療するため、噛み合わせの高さだけでなく歯並びも奇麗になります。夜の間も入れておいて大丈夫なので、食いしばりにも専用のマウスピースを入れることなく対応できます。コーヌスが食いしばりに対応しているためです。全顎の治療は覚悟が要りますが、人生100年時代のどこかで治療する必要があるのなら選択肢の一つになるのではないでしょうか。



院長の無料相談

木村匡司院長がお口の相談に応じます。要予約。

歯の無料健康講座

次回は12月10日(土)・20日(火)
15時30分から約60分

通話料無料
フリーダイヤル 0120-255-418